

前立腺がん検査の導入について

導入目的(平成28年10月から実施)

がん検診受診の誘因効果、健康寿命の延伸のために導入

前立腺がん検査(PSA検査) 導入の意義

①平成23年の男性の罹患者数(全国推計値)は胃がんに次いで2番目となっており、10年前と比較し約3.3倍となっている。(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より)

平成15年-平成17年診断例の5年相対生存率では、93.8%と部位の中で最も高い5年相対生存率である。(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より)

②PSA検査は、前立腺がんの早期診断に有効な検査であることは認められており、治療により生活の質(QOL)の向上が見込める進行がんが高齢者においても発見されている。(H27導入自治体 政令指定都市:20市中13市、府内自治体43市町村中22市町)

【実施方法】

対象者:50歳以上の男性

検査方法:血液検査

